

令和元年度 再エネ海域利用法を踏まえた洋上風力発電事業セミナー 開催のご案内

平成31年4月1日に「海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律」（再エネ海域利用法）が施行され、今後、同法に基づく促進区域の指定及び公募による事業者の選定が実施される予定です。

また、再エネ海域利用法に基づく基本方針において、環境への配慮が適切になされていることを前提としつつ、環境影響評価審査の簡素化による期間の短縮化を図るとされています。

これらのことから、環境影響評価が適切かつ円滑に行われるよう、地方公共団体や環境影響評価の実務担当者の皆様に対して、再エネ海域利用法の執行状況、再エネ海域利用法に基づく手続と環境影響評価法に基づく環境影響評価手続との関係を説明するとともに、海洋の多様な利用等との調和、そのための合意形成等に関する情報を提供するセミナーを開催します。

記

- 主 催：環境省関東地方環境事務所
- 日 時：令和2年2月21日（金）13:00～16:00（12:30 開場）
- 場 所：TKP東京駅セントラルカンファレンスセンター
（東京都中央区八重洲1-8-16 新槇町ビル10F 10B）

<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-tokyoeki-central/access/>



JR線 東京駅 八重洲中央口 徒歩1分、東京メトロ丸ノ内線 東京駅 自由通路経由 徒歩7分

- 参加費：無料
- 定 員：50名

●プログラム

時間	タイトル	講演者
13:00～	主催者挨拶	鈴木 一成 (環境省関東地方環境事務所 環境対策課長)
13:10～13:20 (10分)	再エネ海域利用法に基づく制度と環境影響評価 手続について(仮題)	坂本 万純 (環境省大臣官房環境影響評価課 係長)
13:20～14:05 (45分)	風力発電事業における早期段階での合意形成 の在り方について(仮題)	丸山 康司 (名古屋大学大学院 教授)
14:05～14:15 (10分)	質疑応答	
14:15～14:25 (10分)	休憩 ※講演の進捗により適宜調整します。	
14:25～14:55 (30分)	浜松市沿岸における風力発電ゾーニングにつ いて	江馬 正信 (浜松市産業部エネルギー政策課 副参事・課長補佐)
14:55～15:40 (45分)	洋上風力発電事業と海域の多様な利用等との 調和について	中原 裕幸 (一般社団法人 海洋産業研究会 常務理事)
15:40～15:50 (10分)	質疑応答	
～16:00	閉会 アンケート回収	

●申込方法

- ・電子メール又はファックスにより、件名に「洋上風力発電事業セミナー(2月21日)参加希望」と明記し、所属、お名前(フリガナ)、電話番号、電子メールアドレス又はファックス番号を記載し、下記事務局にお申込みください。なお、席数に限りがあるため、各所属で1名程度を基本にお申し込みください。なお、申込多数の場合は、事務局で参加者を調整させていただく場合がございます。予めご了承ください。
- ・事務局からの返信メールまたはファックスを当日の参加証とさせていただきます。当日会場受付にてご提示下さい。(電子メールでお申込みいただいた方は、返信メールを印刷の上、ご持参下さい。)
- ・参加証はセミナー開催1週間前にお送りします。

●お問合せ先

【事務局】

一般社団法人 日本環境アセスメント協会(後藤、岡本)

TEL: 03-3230-3583 FAX: 03-3230-3876 E-mail: jeas03@jeas.org

環境省関東地方環境事務所
環境対策課
TEL: 048-600-0815
課長補佐: 富田 和明
環境影響審査調査官: 池田 早苗